

1日1問

(中学1、2、3年生数学)

中学校

学年 氏名

2001年千葉県の入試問題(1年生はやや難問題かも、)

★(40点必須)、★★(60点必須) ★★★(75点必須)

★★146g 010806場合 難易度3(場合の問題、)

次の問に答えよ。(数学的考え方必要)文章をよく読みましょう。

上皿天秤が1台と分銅が6個ある。分銅は1gのものが2個、

2gのものが2個 5gのものが1個、10gのものが1個である。

この上皿天秤の一方の皿に物体Aをのせ、もう一方の上皿に3

個の分銅をのせたとき、ちょうどつり合った。物体Aの重さは

何gか。考えられる重さをすべて答えよ。ただし、物体Aは

6g以上、12g以下の重さとする。

今回は分銅3個使う以外は考えないものとする

問題の解き方と復習のポイント

考えられるケースは6 g以上12 g以下で分銅を3個使用してつり合う。

1) 考えられるケースを列挙すると

分銅	1g	2g	5g	10g	Aの重さ
個数	2		1		7
個数	2			1	12
個数	1	1	1		8
個数		2	1		9

右の4種類が考えられる